

学校だより アンケート特集号

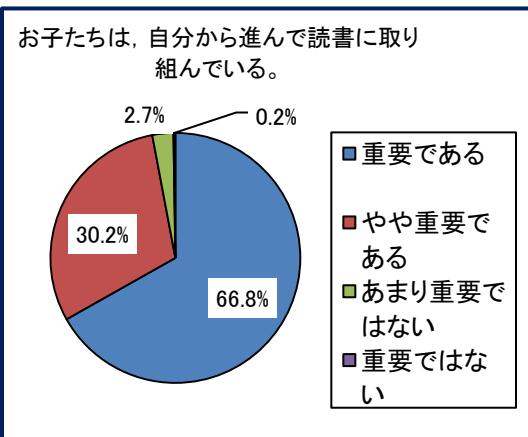
令和3年3月
京都市立桂東小学校
校長 志村 光司

1月に実施いたしました学校評価アンケートの集計結果が出ましたので、お知らせいたします。

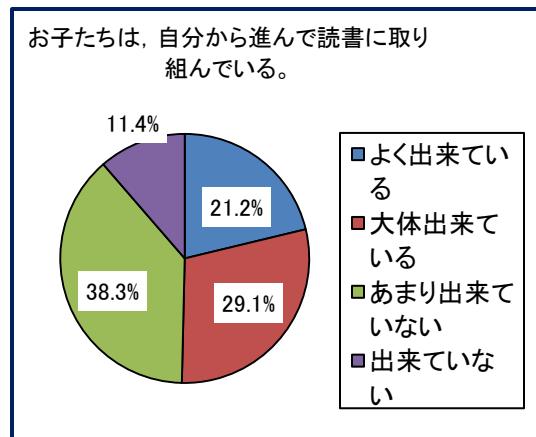
児童に対するアンケートは発達段階を考え、実現度のみを回答していますが、今回も保護者の皆様には、重要度と実現度の2つについて段階をつけてお答えいただいています。『大切であるのに、現実には出来ていないこと』を浮かび上がらせ、改善の指針とさせていただきたいと存じます。

大切なに出来ていないこと

【重要度】

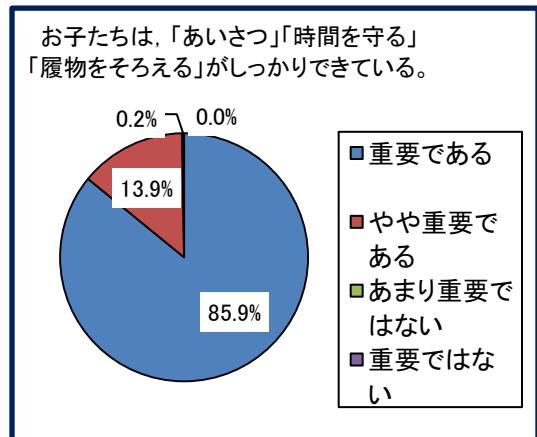


【実現度】

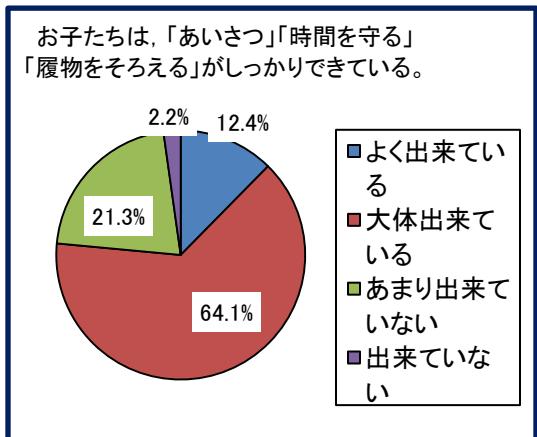


学校では、朝読書や読書週間の取組を中心に本に慣れ親しむ活動を行ってきました。しかしながら前期のアンケート結果と比べるとまだまだ読書習慣が身に付いていないことが分かりました。読書は心の栄養です。読書することで知識だけではなく、豊かな表現力を育むことができます。学校では、今後も授業で学校図書館を活用する機会を増やし、実現度を高めていきたいと思います。また、子どもたちが本に親しむことができるよう、まずは環境づくりに努めます。例えば新しい本を購入したり、新型コロナウィルス感染症拡大防止対策をしっかり行った上で図書委員会による読み聞かせを行ったりして読書をする習慣が身に付くようにしていきます。

【重要度】

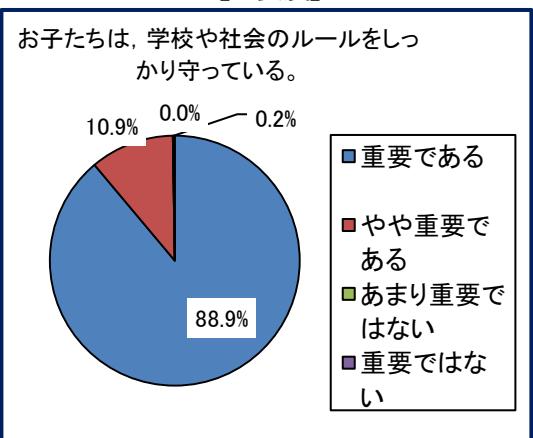


【実現度】

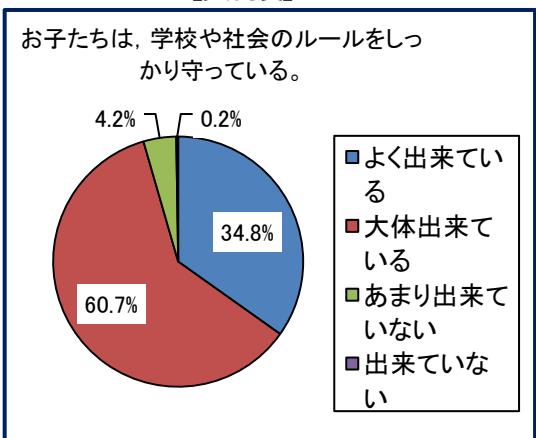


「あいさつ」は、「よくできている」「まあまあできている」を合わせると76.5%ぐらいでできていると回答がありました。今年度はマスク着用のため、声がこもりがちになったり、大きな声が出しづらかったりしました。つまり、なかなか表情を表すことや読み取ることも難しい状況でした。「あいさつ」はコミュニケーションの第1歩です。気持ちの良い「あいさつ」は人間関係に良い影響を及ぼします。今年度は、新型コロナウィルス感染症拡大防止を考え、児童会でのあいさつ運動などの取組は行えていません。「教職員の姿は子どもの鏡」であると考え、「教職員は、子どもの重要な教育環境」なので、大人が子どもにお手本を見せるで「あいさつができる子」が増えたり、意識して声をかけたりすることでどの子も「あいさつがよくできている」と言えるように今後も教育活動を進めています。ご家庭や地域でのお取組もどうぞよろしくお願ひします。

【重要度】

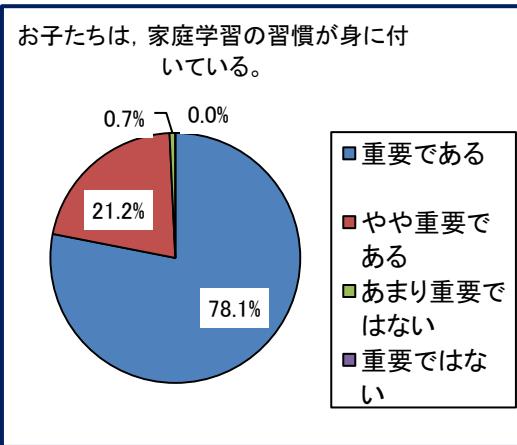


【実現度】

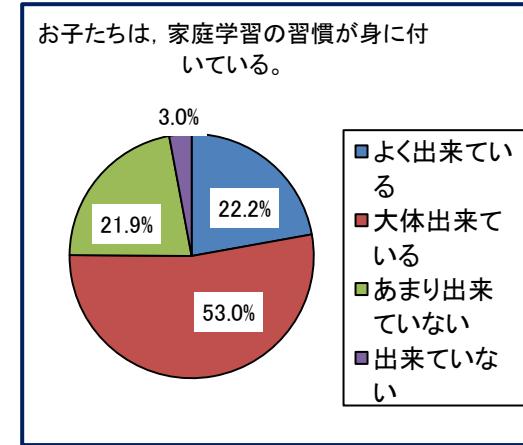


「時間を守る」については、「よくできている」「まあまあできている」を合わせると95%ぐらいはできていると回答がありました。つまり休み時間に自分から時計を見て行動できていることが分かります。今後はチャイムが鳴らなくても次の学習の準備ができる児童がさらに増えるよう指導を継続していきます。

【重要度】



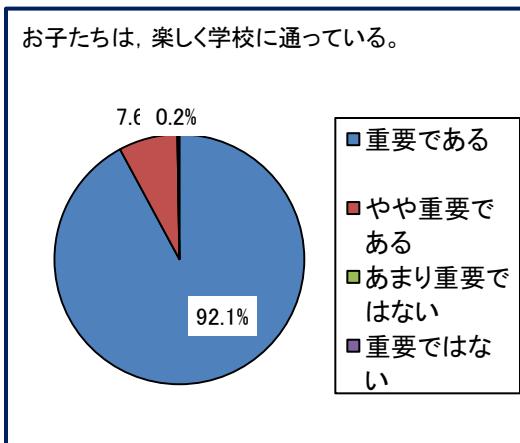
【実現度】



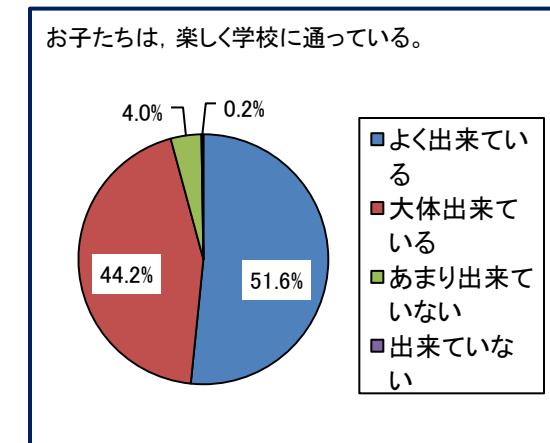
「お子たちは、家庭学習の習慣が身に付いているか」については、「よくできている」「まあまあできている」を合わせると75%ぐらいはできていると回答がありました。家庭学習は、例えば学習ノートの活用によって、学校と家庭との学習を連動させることで学力が向上していくと考えています。学習計画の立て方やノートの書き方、課題の選び方、答え合わせの方法など何かあれば担任にご相談いただき、子どもたちの学習意欲がさらに向上していくよう努めます。

よく出来ていること

【重要度】



【実現度】



児童アンケートでは、「とても楽しい」「まあまあ楽しい」を合わせると、全体で95%ぐらいとなっています。「楽しい学校」という面で多くの児童は安心して学校生活を送っていることが分かります。学校が楽しいか楽しいないかは、「学習の理解」や「友だち関係」とも深く関わってきます。「学習の理解」においては、分か

る喜びと学ぶ楽しさが実感できる授業づくり(授業の質を高める、授業の標準化)を行い、今後も授業改善に努めています。また、「仲間とのつながり」や「考える広がり深まり」を意識した授業展開を行い、子どもの力で子どもを育てることで、さらに学習意欲を高めることができ、学力は向上していくと考えています。「友だち関係」においては、良好な友だち関係を築いているかどうかがこの項目に影響しています。今回の結果

「よくできている」「まあまあできている」を合わせて95%ぐらいはできているという回答から学級で友だちと良好な関係を築くことが概ねできていると思われます。本校の人権教育の取組として毎月「ともだちの日」を設定し、ともだちを大切にすることについて具体的なケースを挙げ各学級で指導してきました。さらに実現度を上げるために、今後も授業を中心にして、自分や人を大切にしていくことを意識できるように取り組んでいきます。

自由記述欄に

関しましては、

保護者の皆様の記述の中から関連するものを抜粋しました。

○コロナ禍でも、感染拡大予防に配慮しながら、日々あたたかくご指導いただいているお陰で、いつも楽しそうに学校での過ごしをお話してくれています。有難うございます。

○最終学年が先行不透明なコロナ禍でのスタートになりましたが、先生方の熱心なご指導のおかげで、楽しい日々を送ることが出来ました。桂東小で過ごした6年間の思い出を大切に笑顔一杯の中学校生活を過ごしてほしいと思います。つい先日、入学したばかりのような気もいたしますが、6年間大変お世話になりました。

○先日配布された「ほけん便り」の中で、生活点検票の保護者のコメントに対してのアドバイスの記述がありました。私自身も仕事で子供達の夕食や睡眠が遅くなってしまう時があるのですが、どのように寄り添ったアドバイスを読ませていただけ、とても嬉しく感じました。子育てにおいても、「寄り添う気持ち」が大切だと、改めて気づかされた気がしました。

○コロナ対応ありがとうございます。運動会に代わり体育参観という名のもと子どもたちの普段の体育の様子が垣間見えたように思え良かったです。鳴子も友達とのびのび楽しそうでした。同じ学年同士仲が良さそうでした。マラソン大会もその様子が見えました。そして周囲なので子どもの様子が何度も見られるので良かったです。

○学校の教室が寒いとよく言っております。今の時期コロナなので、空気の入れ替えで仕方ないと思いますが、あまりにも寒すぎるのは少しかわいそうだなあと思います。よろしくお願ひします。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。様々な課題や今後も伸ばしていきたい桂東の魅力などを知るうえで、大きな指針となりました。また、アンケートの裏面の自由記入欄に記入いただいた事項に関しましては、教職員及び学校運営協議会理事の方とも協議して、今後の学校運営に反映させていきたいと思っております。改善された点については、保護者の皆様におわかりいただけるよう、工夫していきたいと思います。